

比較文明学会創立40周年記念出版編集委員会編

# 人類と文明のゆくえ

危機に挑戦する比較文明学



# 人類と文明のゆくえ

## 危機に挑戦する比較文明学

比較文明学会創立40周年記念出版編集委員会編

ISBN978-4-924523-41-8 C1036 ¥6500E

学会特別価格 5,720円(税込) A5判、524頁、上製

20%OFF 2023年11月末日まで有効

シュペングラー、トインビーに始まる比較文明学は、わが国の比較文明学会で発展を遂げ、40年間にわたって人類と文明の在り方に様々な提言を行って来た。いま、地球温暖化、パンデミック、不信と混迷の時代を迎え、この危機をいかに捉え、いかに乗り越えるべきかを問う。

まえがき／保坂俊司 (比較文明学会会長)

四〇周年記念出版に寄せて／伊東俊太郎 (比較文明学会名誉会長)

### 第一部 日本とアジアを読み解く

- 第一章 群島文明の生命感覚／小倉紀蔵  
第二章 古代ユーラシア文化の日本への影響―“火”の回路から“水”の循環へ／川勝平太  
第三章 文明移転における日本文明の形成の研究―憲法という翻訳語の定着過程の検討を通じて／保坂俊司  
第四章 「宗教」から読み解く日本文化の可能性／岩澤知子  
第五章 ビッグストーリーを超える、賀川豊彦の共有文明構想―『宇宙の目的』とココオペラティブ(協同的営み)／濱田陽  
第六章 中国古代史の再考―古代遼河流域の玉文化を読み解く／汪 義翔  
第七章 桑原隲蔵考／島田竜登

### 第二部 現代を問う

- 第一章 なぜ日本では脱コロナが進まないのか―子どもと若者の問題から見る「日本の没落」の文明論的試論／葛谷 彩  
第二章 グローバル世界秩序の根底にあるローカル特性の意義―解釈学的哲学の立場から／佐々木一也  
第三章 諸文明を横断する道徳は可能か? ―「道徳的世界遺産」というアイデアの可能性／大森一三  
第四章 「罪」にどのように向かい合うのか―日本社会における「罪」と「罰」に関する比較文明的考察／小西暎和  
第五章 「宗教」と「文明」をマトリクス化する―比較文明学と宗教学の協働による宗教・文明研究のために／宮嶋俊一  
第六章 イスラームと性的少数派―インドネシアの事例から考える／加藤久典  
第七章 資本主義と有限性／山下範久

第八章 脱炭素時代における地熱資源利用／小関武宏

### 第三部 文明の再構築に向けて

- 第一章 日本文明の可能性―安定大陸型文明の限界を超える変動帯型文明／原田憲一  
第二章 人新世における「生」の概念について／小林雅博  
第三章 共存可能な文明の条件は何か／金子晋右  
第四章 まなざしの転換へむけて―人類が生態系の一部としての存在であることの意味を問う／横山玲子  
第五章 儂き生と時の再構築―あらかじめプログラムされていることからの自由、その方法へ／犬塚潤一郎

### 第四部 比較文明学の四〇年

- 第一章 比較文明学会の歩み／松本亮三  
第二章 支部と研究会の歩み  
一 九州支部／服部研二  
二 関西支部／中牧弘允  
三 環流文明研究会／神出瑞穂・星野克美  
第三章 多様な研究  
一 比較文明学に出会う―歴史人口学から見る二一世紀の文明世界／鬼頭 宏  
二 大学における比較文明論／三浦伸夫  
三 相成の文明論に向けて／小林道憲  
四 国立民族学博物館(民博)と比較文明学研究／杉田繁治  
五 景観とは人間の営みの結果であり、その文明の姿／赤坂信  
六 龍は太平洋を渡ったのか?―マヤ文明に対するTrans Pacific Impactの可能性／服部英二  
七 「聖なる美」の回廊―「巡礼文明論」の調べ／吉澤五郎  
八 世界文明を収奪文明から共生文明に転換しなければならない／安田喜憲

あとがき／松本亮三 (編集委員長)

ご注文書 お申し込みは下記注文書に必要事項をご記入のうえ、E-mail又はFAXで2023年11月末日までにお送りください。  
送料は400円(ご購入金額が1万円以上は無料)。

年 月 日

『人類と文明のゆくえ』(冊)

学会特別価格 5,720円(税込)

ご購入は：個人 公費(請求書の宛名)  
必要書類：見積書 納品書 請求書

お名前：\_\_\_\_\_

郵便番号：\_\_\_\_\_

ご住所：\_\_\_\_\_

TEL：\_\_\_\_\_ FAX：\_\_\_\_\_

東海教育研究所

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-9-5 新宿御苑さくらビル4階

Tel 03-6380-0490 Fax 03-6380-0499 E-mail: eigyo@tokaiedu.co.jp